

新しい鮭を迎える儀式

さけ



石狩市八幡でのアシリ・チエプ・ノミ(昭和62年)

先日、第41回「石狩さけまつり」が盛大に行われましたが、毎年9月、市内八幡の河川敷で行われているアイヌ民族の鮭祭り「新しい鮭を迎える儀式」をご存知でしょうか。

この祭りは、昭和62年から行わっています。正確にはお祭りではなく、神々に祈りを捧げる儀式一カムイノミです。今年は、9月5日に行われました。この儀式は「アシリ・チエプ・ノミ」と

呼ばれ、「札幌アイヌ文化協会」が特別許可を受けて石狩川の鮭を捕獲する際に実施しています。実はこの儀式、明治まで数百年にわたり、石狩川を始めとする全道各地の鮭川で行われたアイヌ民族の重要な儀式でした

が、河川での漁の禁止により中断を余儀なくされたものです。

「アシリ」—新しい、「チエプ」—魚(この場合、鮭のこと)、「ノミ」—祈る、という意味です。日本語に直すと「新しい鮭を迎える儀式」で、鮭がふるさとの川に帰ってきたことを歓迎し、神々に感謝する意味があります。今は、儀式の場所や鮭の雌雄はあまり問題にされていませんが、明治以前は必ず川の河口で行われ、雄鮭だけが用いられるなど厳格なものだつたと伝えられています。

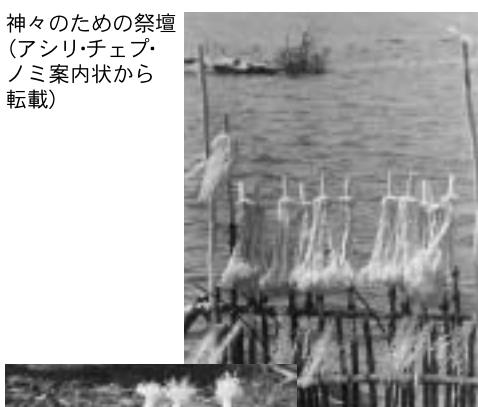
なぜアイヌ民族は、このような儀式を行っていたのでしょうか。それは彼らにとって鮭は、冬を越した。彼らは鮭を「シイペ(本当の食物)」とか「カムイ・チエプ(神

の魚)」と呼びます。鮭が冬の食料としていかに大切だったかは、江戸時代、不漁で石狩川流域のアイヌの人々が多数餓え死にした事件があつたことからも知ることができます。

アシリ・チエプ・ノミは、まず初漁で取れた鮭を祭壇の前に置き、神々への感謝と祈りの言葉が捧げられます。次いで、参加者は石狩河口の神、阿蘇岩山の神、村の神、手稲山の神などのイナウ(ご幣)に酒(にごり酒)を塗つて感謝の気持ちを表します。

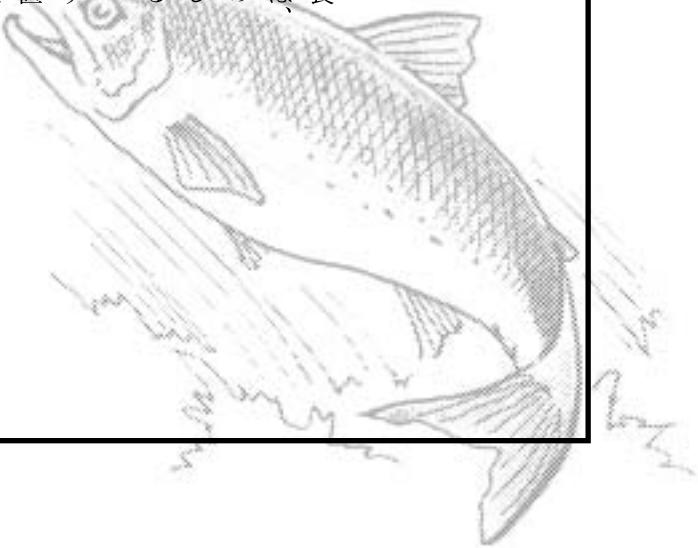
(石橋孝夫)

神々のための祭壇
(アシリ・チエプ・ノミ案内状から
転載)



儀式に使われるイナウ
(昭和62年)

- 文化財課 国72-6123
✉bunkazaih@city-ishikari.hokkaido.jp
- いしかり砂丘の風資料館 国62-3711
✉i-museum@bz01.plala.or.jp
- 石狩浜海浜植物保護センター 国60-6107
✉ihama@city-ishikari.hokkaido.jp



大募集!!

●広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。
※匿名希望の場合もお便りには名前、住所、電話番号を必ず明記してください。
〒061-3292 石狩市役所 広報いしかり 宛
☎72-3153 ☎74-5581 ☐PR@city.ishikari.hokkaido.jp

【図書館への質問】

Q

読書が好きで、この時期は特にいろいろ読みたい本があります。ただ、残念ながら図書館に探している本がないときも…。そんなとき、気軽に本のリクエストはできますか？

A リクエストサービス
図書館にない本は、予約。

また、個人で購入した本の中に思つたものと違うため読まずに積んであるものがありますが、本なのでやっぱり捨てられません。図書館で有効に利用していただく方法はありますか？

本のリサイクル
エントランスホールにあるリサイクルコーナーには、ポルノや特定の政治、宗教に関わるもの、古すぎたり汚れたものでなければ、何でも自由に置いていただけます。それらはどなたでも自由に持ち帰ることのできる本です。書架が一杯の場合や、お持の上、カウンターに申し込みただければ、当館では道立図書館、札幌市の図書館をはじめ各地の図書館から取り寄せて貸出

します。購入の場合は図書館資料収集方針、図書選定基準に基づき、選書会議で蔵書のバランス、類書の有無、価格などをもとに決定します。当館でのリクエストについては、おおむね希望された本をお読みいただくことができると思います。

教えて! 市役所

市民の皆さんから寄せられた声をもとに、市役所からご提案するコーナーです。よりよいまちづくりを目指し、今後も市民の皆さんからの市政に対する要望や提案をお待ちしております。

市役所の情報と 市内の話題を伝えます

●市民の声を聴く課 市役所1階

当課では、広報いしかりの発行・石狩市ホームページの運用などの広報事務と市長室開放、自治懇話会などの広聴事務を行っていますが、今回は皆さんがご覧になつているこの広報いしかりについて。広報いしかりは、昭和26年に発行され、以来、記事の内容、ページ数などは時代とともに変化してきました。しかし、いつの時代でも広報紙は、市役所からの大重要な情報と市内の話題を伝えるという役目を担っています。そしてお気づきのとおり、今月号から広報

誌が一新しました！ 主な変更点は①表紙には募集した市民モデルや市内風景なども掲載予定。裏表紙には、新たな財源確保という観点から企業等の広告を掲載します。②読み物のページと情報ページを分け、読みやすさに努めます。③「りんぐる通信」を情報ひろば（従前の情報いろいろ）に統合。④「いしかりさん（産）」（従前のいしかり人）コーナーでは、市内で活躍されるいのちになる量が多い場合はカウンターにお申し出ください。

協力しながら、愛される広報紙をつくつていきたいと思いまますので、広報紙への感想・意見、市政に対するご意見をお待ちしています。

